

保育闘争委員会ニュース 公的保育を守り拡充させよう

2011年
1月20日(木)
第21号

発行 = 東京自治労連保育闘争委員会 Tel.03-5940-7951 Fax.03-5940-7957 honbu@tokyo-jichiroren.org

東京保育運動実行委、総会開催

「保育水準の低下を許さない東京の自治体保育労働者運動実行委員会」の第2回総会が1月17日に開催されました。14区・公共一般から23人が参加しました。

小山実行委員長は開会のあいさつで「長い間、自治体保育労働者の東京集会実行委員会として集会、学習会等に取り組んできたが、昨年からの保育への攻撃、とりわけ『新システム』に対して運動を強めなければならない。そのためにも保護者、地域の人たちと手をつないで運動を広げていく必要がある」と話し、この総会で、「自治体に働く保育労働者の東京集会実行委員会」と「保育水準の低下を許さない東京の自治体保育労働者運動実行委員会」をひとつの組織に統合し、さらなる大きな運動にしていくことを提起しました。続いて高橋事務局長より2010年度経過報告、2011年度運動方針案、申し合わせ事項改定案の提案がありました。会計から決算報告及び予算案の提案がありました。いずれも拍手で確認しました。

自治労連の単組からは、「新システム」反対を前面にかかげ、学習会を重ね、保護者への宣伝・共同しての学習、駅頭・地域宣伝行動を精力的に行い、それが国・都あての署名の数にも大きく反映しているとの報告がありました。

自治労の単組からは、まず組合員の学習会を行い、地域の関係団体との宣伝行動など、できることから進めているとの報告がありました。大田では5回の学習会、保護者への門前宣伝、署名行動を行ったとの報告がありました。反応もよく署名はいつもの倍以上集まったとのことでした。

各地域のこの間の運動の成果に確信を持ち、「新システム」をなんとしてもストップさせるため、実行委員会に結集し運動を強めていく決意を固め閉会しました。

保育部会総発言続報（「新システム」とのたたかいを中心に）

墨田区職労保育園支部

「新システム」とのたたかいでは、9月には署名スタート集会に執行委員全員の参加を呼びかけ、合わせて園長懇談会を開催。区職労あげてたたかうとして10月に行動計画を決め保育闘争委員会を設置しました。10月中旬からは4ブロック別の学習会に420人中317人が参加。14回にわたる駅頭宣伝署名行動も実施。庁舎内でも署名配布・回収。署名は1人50筆を目標に18000筆の到達となっています。12月開催の保護者や地域住民とつくる「墨田保育ネット」では、保護者からもっと行動をおこしたらとの積極的意見も出されています。今後、保護者・地域住民とともに区への働きかけを強めます。

豊島区職労保育園支部

「新システム」に反対する運動の重要性を6月の保育園支部定期大会で確認、8月に支部委員対象に学習会開催、9月には22園全園に執行委員が出かけ、職場懇談会で新システムについての学習と行動提起を行いました。10月に組合員対象の学習会開催。駅頭宣伝は13回、保護者向け署名は保育園門前で2回実施しました。署名の目標は組合員1人20筆で8000筆、たくさんの組合員の参加で、昨年よりも署名数を増やしています。また新システムへの危機感から各種集会の参加者も増えています。今後保護者にもっと伝えていくために学習会を計画する予定です。

足立区職労保育園分会

「新システム」とのたたかいでは、学習会、本庁舎門前宣伝、駅頭宣伝を実施してきました。また、OBの力も發揮してもらっています。署名は、例年3~4000筆ですが、今回は6000筆を超えた到達となっています。

現在11ヶ所の保育園が民営化され、2011年以降も14ヶ所の名前が挙げられています。福祉保育労、認証保育協議会に呼びかけ「足立の保育政策を考える会」を9月に実行委員会として発足させました。現在、3グループで利用者アンケート、区民アンケート、保育実践の検討、区の行財政分析を進めています。

5月に労働基準監督署の査察があり、36協定締結を勧告。分会として、最小限の超勤にとどめる、休憩時間はきちんととる、サービス残業解消の立場で交渉を重ね、12月に協定が交わされました。

文京区職労保育園分会

「新システム」に反対する運動では、9月~10月にかけて、職員全員参加を基本に高橋光幸氏や二宮厚美氏を迎え学習会を開催。「新システムの仕組みがわかった」「このままこのシステムをすすめてはいけないと思った」「自分ができることがあれば行動したい」といった組合員からの感想がきかれ、その後の駅頭宣伝や、健康まつりでの署名活動(2時間で約400筆)、庁舎ビラ、集会に数多くの組合員が参加し、運動につなげていきました。

世田谷区職労保育園分会

組合員だけでなく、私立保育園・保育室・認証保育園などに呼びかけ、学習会を100人規模で4回開催しました。都段階の学習会も含め7割近い組合員が学習しています。署名は1人20筆20000筆を目標にし16000筆の到達となっています。保護者向けに49園全園での門前宣伝も実施。ホコ天では1000筆の署名を集め、駅頭宣伝は2回7ヶ所で実施しました。長らく休会状態だった「公的保育を守る世田谷実行委員会」を再会し、区議会へ陳情書(継続審議に)を提出しました。

今年は民営化の検証の年であり、12月に中間まとめを発表。経費の面は具体的報告がされていませんが、一路企業解禁となっていないのは運動の成果と思われる。

国立市職労保育園分会

「新システム」とのたたかいでは、9月14日に逆井直樹氏を講師に保護者とともに学習会を開催し、署名は目標5000筆を超える5700筆を集めています。市長に「保育改革に関する要望書」を提出しました。

今年で12回目を迎える「子育て集会」も、各園の出し物や子育て相談、食のコーナー、手作りおもちゃを作って遊んだり地域の子育てと職員の楽しい交流の場となりました。

国立市では08年に突然保育園の民営化案が出され、市民、保護者、組合員がともに学習会、署名活動を続け、白紙撤回することが出来ました。09年に国立市保育審議会が設置され、2010年に審議会をもとに「保育計画」が出され、その中では「審議会で、一つの方策として、公立保育園を民営化して生み出された財源を保育サービスの拡充に充てると提案されました」との前文があり、内容を変えるようにとの交渉を続けています。

2/5・6 自治体保育労働者の全国集会への参加 を最後まで強めましょう!

【傘下の組織や保育関係者に配信・配布してください。配信希望者は氏名と所属、「保育闘争委ニュース希望」と明記し、パソコンよりメールでお申し込みを。内容を圧縮した「携帯メールニュース」は携帯からメールでお申し込みを】